

からのお知らせ

※費用が明示されていないイベントは無料。
※申込期限が書かれていない場合は当日まで。

▼お申込み・お問い合わせは電話かFAXでラコルタまで。

電話：06-6155-3167 FAX：06-6833-9851

テーマ カフェ

毎月テーマが決まっています。参加された
皆さんと一緒に気軽にお話ししましょう！

＊「ボランティアの定年について」＊

1月29日(木)
生きがいとして取り組んできたボランティア活動。
その「定年」を迎える準備について話し合しましょう。
●とき：13:00～15:00 ●定員：先着10名

＊「ネオシニアの生き方について・第2弾」＊

2月14日(土)
ネオシニア世代(主に50代)の地域との関わり方
について話し合しましょう。
●とき：18:00～20:00 ●定員：先着10名

『市民公益活動入門講座』

12月25日(木)、1月22日(木)、2月26日(木)／
13:30～15:00／各定員10名

『ほうしゃのうと暮らしのおしゃべり会』

12月6日(土)、1月17日(土)、2月8日(日)／
13:30～16:30／1家族＝100円／保育あり・要予約

毎月
開催

12月13日(土) 税理士に学ぶ 活動計算書ってなあに？ 市民公益活動団体会計講座

現金出納帳の付け方からNPO法人に求められる
活動計算書の作成までをワーク形式で学びます。
※講座後、受講者の個別相談にも応じます(先着順17:00まで)
●とき：14:00～16:00 ●定員：先着20名

2015年1月31日(土) かえっこプレイイベント

第3回となる「かえっこバザール」のプレイイベント。
いっぱい遊んでカエルポイントをためよう！
●とき：14:00～16:00 ※当日はおもちゃの引取りのみ

2015年2月11日(水祝) 東北復興支援 ママとキッズの バレンタインチャリティー

ステージや販売・体験ブースを家族で楽しみ
ながら、東北へ支援のきもちを届けましょう！
●とき：10:00～16:00 ※主催:ママキッズプロジェクト

連載

番外編

私たちの団体・私たちの活動

市民公益活動団体インタビュー

チャレンジショップゆめちか／旬カフェ Lip 清水 里香 さん

Q オープンの経緯を教えてください

A カフェを運営するのが夢だったので、チャレンジショップとして、吹田市役所本庁舎地下の喫茶室跡を使って、今年9月から期間限定でオープンしました。「起業家のための学び、実践、成長の場」として府内初の取り組み。愛称のゆめちかには、「夢」+「地下」に加えて「夢」+「近」という、出店者が夢に近づくことができるようにとの想いが込められているそうです。

<場所：吹田市役所中層棟地下1階>

平成27年8月31日までの月曜日～金曜日 午前9時～午後4時30分(土曜日、日曜日、祝休日などの市役所閉庁日は休み)

Q メニューを教えてください

A 旬の野菜を使った「おかずスープ」、小丼、パンなど、さまざまなカフェメニューを提供しています。季節の変わり目に合わせて、体にいい食材を採り入れるよう心がけています。また、吹田の平野農園で有機栽培の自然農法で育てられた野菜も使っているの、市民の方に親しみやすいメニューになっていると思います。

Q 今後の展望は？

A 今は行政の支援を受けていますが、吹田での開業に向けて運営の勉強を日々しています。高齢者でも子ども連れのお母さんも、だれもが気軽に来られるような、心が和む、気持ちがりラックスできるコミュニティカフェを目指しています。そこで趣味の生け花教室も開き、植物やアートに触れられる空間にもなればいいなと思います。

ぶちぽう

働きざかりの方や家事・勉強に忙しい方などに、週末や余暇の新しい過ごし方として、「短時間でできる(ぶち)ボランティア活動」のプログラムを提供します。

ラコルタサポーター

ラコルタが行うイベントや活動を応援し、ボランティアとしてお手伝いいただきます。



↑詳しくはWebで

編集後記

ラコルタニュースレターVOL.9を読まれていかがでしたか。ラコルタがオープンしてはや2年。毎日、多くの方が集っているこの「ラコルタ」は、2年前のオープン準備期間は、がら～んとした「ただの空間」でした。今では、毎日、皆さんの頑張りと笑顔に元気をいただきながら・・・、「明日も頑張るぞ～」(心の声) (岩城)

<発行責任者>柳瀬真佐子
<編集スタッフ>茨木由美・岩井聡・岩城奈緒美・鍵谷誠一・佐藤和男・春貴勇力・李 穎(五十音順)



出会う→集う→育てる→実る



吹田市立市民公益活動センター

〒565-0862 吹田市津雲台1丁目2番1号
千里ニュータウンプラザ6階

TEL 06-6155-3167 FAX 06-6833-9851
Eメール info@suita-koueki.org
ホームページ http://suita-koueki.org

指定管理者 NPO 法人 市民ネットすいた

ラコルタへのアクセス 阪急電車千里線「南千里駅」改札出て左、千里ニュータウンプラザ6階



出会う→集う→育てる→実る



吹田市立市民公益活動センター

- ラコルタの方針●
- ①市民公益活動を行うNPOやボランティアの活動を支援する
 - ②社会に役立つことを始めようとする市民や事業者を増やす
 - ③市民公益活動団体と教育・研究機関や行政との間で交流を深め、情報を共有する
 - ④市民公益活動を支援できる人材の育成を図り、協働によるまちづくりを推進する

8月24日(日)

9月21日(日)

ビジネス型社会貢献活動入門講座

コミュニティビジネス(CB)・ソーシャルビジネス(SB)を取り上げた講座を開催しました。CB・SBとは、地域や社会の課題をビジネスの手法を用いて解決を図っていくものです。初回は、認定NPO法人大阪NPOセンターの堀野巨求さんを招き、CB・SBの基本的な考え方について学びました。2回目は、(有)協働研究所の与那嶺学さんから、起業支援から見えるCB・SBのポイントを、他市の事例紹介として、自治会活動にビジネスの要素を取り入れた箱の浦自治会まちづくり協議会の岡保正さん、障がい者の雇用に取り組む(株)八百鮮の市原敬久さんにお話しいただきました。ビジネスという要素が含まれることから、若い世代の参加も多くみられました。市民公益活動や地域活動において、事業収入を見込んでいくことは、活動の継続性が増すだけでなく、新たな雇用の創出も期待されます。ラコルタとしてもCB・SBといった視点での活動支援を行っていきたくと考えています。

9月12日(金)

10月25日(土)

THE ピックアップ

ラコルタの取り組みを紹介!

手にとってみたい
くなる見やすい
紙面づくりのポ
イントは何か・・・。「デコボコ感」をキーワードに、ラコルタのニュースレターでデザイン担当のスタッフが講師となり企画した講座です。各々の会報誌を交換して第一印象をチェックし合うなど、他の団体の課題やヒントを共有できる良い機会になったのではないのでしょうか。参加者の皆さんには、受講後も紙面づくりに活かせる「デコボコ感チェックシート」をお土産に持って帰ってもらいました。各団体での会報誌づくりに役立ててもらえればと思っています。

身近なことから始めましょう

テーマ
カフェ

「終活」について

ラコルタでは、様々なテーマについて語り合う意見交流会「テーマカフェ」を毎月開催しています。10月のテーマは「終活」。ゲストに終活カウンセラーの利波安紀子さんをお招きし、カウンセラーになったきっかけや「自身の生き方をふりかえること」など、日常生活の中で気軽に始められる「終活」について紹介していただきました。その後、参加者からも、葬儀や生前の意思など、さまざまな疑問や不安が寄せられ、いつかは訪れる「死」について、早い時期から生活の中で話題にしたり、いざという時のために、地域とつながっておくことの大切さを共有し、明るい締めくくりとなりました。

ラコルタの
ココに注目!
本号は---

PTA

子育て世代の シャカイコウケン

吹田市の市民公益活動に取り組むどの団体においても担い手不足が深刻な問題になっています。本号では、これからの地域社会を担っていく世代が多く参加する PTA 活動に注目しました。

PTA は “子どものため” … ならず

PTA 活動とは、学校・家庭・地域における子どもたちの教育環境を整備していくことを目的に、保護者が中心となり様々な取り組みを行うものです。一方で、公益社団法人日本 PTA 全国協議会のホームページでは、会長 尾上 浩一さんが ……

“「子どもたちのために」を大前提として活動していますが、実は保護者が、人とのつながりや地域とのつながり、社会を知り自分を成長させることができる場でもあります。”

……と挨拶で述べられているように、活動に携わる保護者にとっても価値のあるものともいえます。現役・OB も含め、PTA 経験者のインタビューをし、あらためて PTA 活動の価値や、その魅力をお伝えしたいと思います。

PTA は損な役回り? ソナナことないで!

◎インタビュー : ラコルタスタッフ 柳瀬・春貴

PTA 活動を楽しむコツは?

田中さん : 嫌と思ってやらないことです。ね。「なんでこんなこと?」っていう風に考えてやったら楽しくないでしょうし。新しい繋がりができるのも嬉しいですね。

大原さん : 何をするにも楽しもうと思っています。例えば、行事に向けておそろいの T シャツを作ったりとか。しないといけないことを、どう楽しむことができるかっていつも考えています。

地域との関わりについては?

田中さん : 地域の人たちが子どもたちのために色々な行事に取り組んでいることを認知している保護者は少ないと思います。子どもたちのためを思うなら、地域は PTA と同じくらい大事なやとわかってもらう、そのためには、まず PTA に参加してもらうことでしょうね。

大原さん : 餅つきや市民体育祭など、地域の人たちにやってもらっていることが“当たり前”と思っている人が多いですが、PTA としても自分たちの意思で地域活動に関われるようになりたいなと思います。

吹田市 PTA 協議会 副会長
◎大原 有樹子 さん



大事にしていることは?

大原さん : 1 回目の運営員会で言うんですよ。「最後に、やって良かったって言うように頑張りましょう!」って。せつかくやから、やらへん方が損やで! くらいの気持ちでと思っています。

田中さん : 会長が一番偉いじゃなくて、一番下だと思っています。次に役員がいて、その上に委員、会員さんがいるっていう。それと、今後ますます PTA 離れが進んでくる可能性があるんで、PTA 活動のハードルを下げるのが、私の役目だと思っています。

負担に思う人も多い?

大原さん : 今は、当たってラッキーと思う人は、ほぼゼロ。今後は当たってラッキーと思ってもらえるような環境づくりができれば良いなと思います。

田中さん : くじびきとか順番とか、最初はそれでも良いと思うんですよ。そこからやった人がどう感じてくれるか。それで、残ってやろうって人も必ずいると思うのですね。

吹田市 PTA 協議会 会長
◎田中 勲 さん



先輩に聞いてみよ! インタビュー

PTA OB 無理せず、できる範囲から始めるのがお勧め

誘われたことをきっかけに会計を引き受け、その後副会長になりました。役員になると学校の様子がよく分かり、先生や保護者とのコミュニケーションにも役立ちました。とはいえ、今までの生活は一変し、一段と多忙さは増しました。しかし、モノは考えようで、学校のため、子どものためだけではなく、PTA 活動を通じて新しい友だちが増えたことや、仕事や家事以外で自分の力を発揮できるなど、自分自身が楽しく参加できました。どうせ関わるのなら少しでも楽しく、自分にとって実りのある活動にしたい、PTA 活動は、子どもが学校に通う間しか参加できないボランティア活動です。無理せず、できる範囲から始めるのがお勧めです。PTA 活動を通じてできた人間関係を活かし、今でも連合子ども会などで地域の子育て支援に関わっています。



◎三浦 幸美さん
吹田市市民自治推進委員 など

OB から見た PTA 活動の魅力

PTA OB 困っている子どもに声をかけられる PTA へ

PTA 活動をやり始めて、思っていたのは、僕自身の同級生のことでした。保育所から一緒やったんですが、社会から見放されてシンナーの吸い過ぎで死んでしまったんです。こういうことをなくすためには、やっぱり地域教育とか、社会教育という部分が大事。PTA に入る前にも近所で火災があったんですが、その家庭は親がアルコール依存症で、真冬に下着姿の子どもをベランダに放り出しているのを見かけていました。その時は虐待ホットラインとかも知らなかったし、なんとかせなあかんと思ってるうちに、火災が起きました。母親は亡くなったそうですが、子どもは事前に児童施設に預けられていて助かることができました。ほんのちょっとのお節介をみんながするだけで、変わることもあるんじゃないかなと。難しいかもしれないけれど、そういうことを発信し続ける人が必要だと思っています。困っている子どもに声をかけられる PTA になってほしいなと思います。



◎永井 忠孝さん 大阪府 PTA 協議会 特別参与、
吹田市社会教育委員会 議長 など

先輩に聞いてみよ!

読み聞かせ活動から 地域の劇団へ!

番外編・レポート



PTA の、保護者の繋がりがから生まれた活動があります。東佐井寺小学校で読み聞かせ活動をしていた金子真佐美さん。読み聞かせをするメンバーが増えて、まわってくる回数が減ってしまい、1 人ではなく、みんなでできることを考えた結果、「劇団」だったそうです。当時の子どものクラスが 2 年 1 組だったことから名付けた名前が「劇団にのいち」。子どもたちからも好評で、学校から地域へと活動は広がっていきました。

